

まず、広島で就職している卒業生に呼びかけて、同窓会設立準備委員会というものがつくられ、そのなかで同窓会設立に向けての作業が始められました。卒業して数年たつと、友達のことを伝え聞くにつれ、久しぶりに会ってみたい、一度皆で集まればいいと思うようになるものようです。第一期生が卒業してはや4年目、大学院も2回目の修了生を出し、卒業生は合計450名近くになったこの時点での同窓会の設立は、ちょうどよいタイミングではなかったろうかと思えます。

作業は、同窓会規約と名簿作りから始まりました。同窓会設立の趣意書の郵送、往復はがきによる住所、就職先の確認の繰り返しです。同窓会の設立準備といいますが、何も無いところからの出発です。皆若いうえに、当然このような経験もなく、またそれぞれが仕事をもっているうえでの作業です。

このような状況で、準備委員会を支えてくれたのが、先生方と事務の方々の御協力でした。特に、今中先生、重中先生、厚生補導の牧野さん（現在は工学部へ転出）、その後を引き継いで下さった村中さんには、おんぶにだっこ、御協力頂いたというよりは、全面的に手をとって御指導頂いたというのが実情でした。資金面でも、教職員の方々の御寄附によりまして、何とか同窓会の設立にこぎつけることができました。本当に有難うございました。

同窓会発会式の前に行われた第一回総会で役員もきまり、同窓会名簿もまだ空白部分も多いとはいえ、かなり正確なものも出来ました。財政上も、会費、入会金の徴収もまずまずというところで、何とか見通しがつきました。おかげをもちまして、我が総合科学部同窓会も、よちよち歩きではありますが、やっと一人で歩きだすことができました。

会の運営につきましては、今後様々な問題がでてくるでしょうが、同窓生全体の強い絆をもった同窓会に育てていきたいと思えます。これから、毎年、新会員を迎え、どんどん大きくなっていくこととなりますが、同窓会の一層の発展の為、皆様の御指導、御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、新役員を紹介致します。

- 会 長 中洋一郎（53年卒・社会）
副会長 今井知之（53年卒・環境、55年卒・環研）
〃 石松 繁（55年卒・地域）
会 計 神田淑恵（54年卒・情報）
〃 小川秀樹（55年卒・社会）
理 事 竹本裕之（54年卒・環境、56年卒・環研）
〃 竹原進一（56年卒・社会）
〃 平岡耕一（〃・環境）
監 査 藤原成幸（53年卒・社会、55年卒・地研）
〃 田中啓子（54年卒・環境）

『飛翔』学生編集部移転先ルポ

総合科学部の西条移転も3年後とせまり、56生は4年次に実際に西条へ行かなければならないということです。そこで『飛翔』学生編集部では、移転先はいったいどんなところなのか、また現在工事はどの程度進行しているのかということを実際に見てみ



5545034 雲 井 司

ようと、西条の移転先へハイキングに出かけました。

5月24日（日）朝／雨のち曇／一旦は中止しようという話となったハイキングですが、1年生の強い要望に動かされ、いざ西条へ／約30分電車でゆられて西条駅到着／さて次はどういけばよいのだろう。移転先の中の学部的位置関係を知ってはいても、移転先がどこにあるかは知らない私たちでした。駅の案内所で尋ねて、やっとバスに乗り込みます。バスは2号線を離れて田舎へ田舎へと走ります。十数分で目的地。バス停からゆるやかな坂を登ってゆくと左手にちょっとした谷を隔てて現在工事進行中の工学部の8階建4棟が見えてきます。このあたりまで来ると近くには農家と工場が一棟ずつ見えるだけです。工学部の向こうには、ががら山がどっしりと腰

をすえ、鳥の声など聞こえてきたりして、なんだか
 隠居生活でもできそうな静けさです。外の道路の車
 の音がうるさく聞こえる今のキャンパスに比べると
 学問研究にはもってこいのようなようです。さて総合科学
 部の予定地は工学部の西側。民家や鉄材置場、
 ブドウ畑の残っているあたりで、まだほんの一部造
 成が始ったばかりという状況です。そのあとキャン
 パスを東西に貫くメインストリートにかかる橋をわ
 たってキャンパス内へ。工学部の南側に予定されて
 いる大学会館、図書館はかなり造成が進んでいるよ
 うです。そして、造成の進む生物生産学部を左に見
 ながら南に下ってグラウンド予定地へ。かなり平ら

になっていますが、完成にはもう少しのようです。
 しかし広さはさすがに一級品、これなら大学らしい
 と思えるに十分でしょう。帰りは西条駅まで徒歩、
 約1時間ほどの距離でした。

静けさと広さは確かに一級品の新キャンパス予定
 地ですが、近くを歩いても店らしい店もなく、学生
 の下宿できそうな所も少なく、(もちろん遊びにゆ
 けるところありません。)実際の移転までに、ど
 こまでそういった問題が解決されるかが問題のよう
 です。

西条駅からは案外近いようですし、興味のある人
 は一度見学にいってはいかがでしょう。

学 部 の 記 録

— 人 事 異 動 —

<採 用>

(教 官 の 部)

- 3. 1 宇田川真行(基礎科学研究 助手)
- 4. 9 加藤 真吾(自然環境研究 教務補佐
員)
- 5. 1 杉本 篤(情報行動基礎研究 教務
補佐員)

(事 務 の 部)

- 4. 1 平本 貴子(用度係)
- 安田良理子(学務第一係)
- 有馬多佳子(地域文化コース)
- 山本 正和(保健体育)
- 森下 智子(体育学部創設準備室)

<昇 任>

(教 官 の 部)

- 4. 1 桑田 正秀(情報行動基礎研究 助教授)
- 海上保安大学校講師より
- 嶋 陸奥彦(アジア研究 助教授)
- 総合科学部講師より
- 藤原 武弘(人間行動研究 助教授)
- 総合科学部講師より
- 水田 義弘(基礎科学研究 助教授)
- 総合科学部講師より
- 樋口 昌幸(英語 助教授)
- 総合科学部講師より
- 小島 基(ドイツ語 助教授)
- 総合科学講師より

加藤 道雄(自然環境研究 助手)
 金沢大学教養部助教授へ

(事 務 の 部)

- 4. 1 村田 和雄(学務第二係 係長)
- 歯学部学務係より
- 6. 1 八百野幸江(庶務係 主任)
- 野村ミズエ(環境科学コース事務室
主任)

<配置換>

(教 官 の 部)

- 4. 1 今中比呂志(社会文化研究 教授)
- 法学部教授へ
- 岩本 誠一(情報行動基礎研究 助教
授)
- 九州大学経済学部助教授
へ

(事 務 の 部)

- 4. 1 橋本 正(人事係長)
- 教育学部庶務係長より
- 高杉 由紀(厚生補導係 主任)
- 庶務部庶務課学事係主任
より
- 永田和歌恵(庶務係)
- 附属学校部皆実附属学校
係より
- 升森 敏夫(経理系)
- 附属学校部皆実附属学校

係より
 田中 究(厚生補導係)
 歯学部解剖教室より
 比田やよい(情報行動科学コース)
 理学部物理教室より
 平田 芳土(人事係長)
 理学部庶務係長へ
 今田 能之(学務第二係長)
 理学部学部学生係長へ
 久田 知明(学務第一係 主任)
 附属学校部皆実附属学校
 係主任へ
 牧野 央(厚生補導係 主任)
 工学部厚生補導係主任へ
 小野 毅(庶務係)
 経理部経理課収入係へ
 松浦 邦男(厚生補導係)
 医学部庶務係へ
 木原 英(情報行動科学コース)
 法・経済学部学務係へ
 4. 15 中村 猛(経理係)
 理学部より
 村中 正志(用度係)
 理学部へ

入江 邦子(情報行動科学コース)
 庶務係より

<辞職>

(教官の部)

3. 31 金森 誠也(ドイツ語 教授)
 櫻井 哲夫(ヨーロッパ研究 助手)

(事務の部)

3. 5 清水由美子(経理係)
 3. 31 大林 留實(情報行動科学コース)
 大倉 信明(経理係)
 6. 5 小松美貴子(健康相談室)

<退職>

(教官の部)

3. 31 会沢 邦夫(情報行動基礎研究)
 山田 康治(自然環境研究)

(事務の部)

3. 30 空川 学(保健体育)

<改姓>

6. 9 上原やよい(情報行動科学コース)
 旧姓 比田

<部内配置換>

4. 1 原田 桂早(庶務係)
 用度係より

= 海 外 渡 航 者 =

(出張および研修)

前田 渡(情報行動基礎研究 教授)
 渡航先 アメリカ合衆国
 目的 イリノイ大学のシステム自動診断研究
 グループにおいてシステム解析と診断に
 関する研究を行うため
 期 間 55. 12. 30 ~ 56. 6. 9
 佐竹 明(ヨーロッパ研究 教授)
 渡航先 ギリシャ、トルコ、イタリア
 目的 パウロ関係の遺跡等の実地調査
 期 間 56. 3. 21 ~ 56. 4. 6
 樹下 行三(情報行動基礎研究 教授)
 渡航先 アメリカ合衆国
 目的 第11回耐障計算システム(FTCS-11)
 国際学会プログラム委員会に出席のため

期 間 56. 2. 28 ~ 56. 3. 9
 小林 文男(アジア研究 教授)
 渡航先 中華人民共和国
 目的 中国歴史学会の動向調査及び学術教育交
 流
 期 間 56. 3. 11 ~ 56. 3. 22
 重中 義信(情報行動基礎研究 教授)
 渡航先 オーストラリア、シンガポール
 目的 微小管の構造と機能に関する研究
 期 間 56. 4. 1 ~ 56. 9. 30
 津端 修一(自然環境研究 教授)
 渡航先 連合王国、ドイツ連邦共和国、スイス
 目的 ヨーロッパの都市・農村快適環境管理調査
 期 間 56. 4. 11 ~ 56. 4. 25

佐藤 信行(英米研究 教授)
 渡航先 ベルー、ポリヴィア
 目的 昭和56年度科学研究費補助金(海外学術調査)による「中央アンデス農牧社会の民族学的研究」のため
 期間 56. 5. 1～56.11. 1
 中根 周歩(自然環境研究 助手)
 渡航先 大韓民国
 目的 漢江(韓国)及びその流域生態系における環境動態に関する基礎的研究
 期間 56. 5. 7～56. 6. 20
 武森 重樹(自然環境研究 教授)
 渡航先 アメリカ合衆国
 目的 第7回フラビンおよびフラボプロテインに関する国際研究集会出席並びにオレゴン大学において研究交流のため
 期間 56. 6. 19～56. 7. 2
 小野 寛晰(情報行動基礎研究 助教授)
 渡航先 オランダ、ポーランド
 目的 ブラウアー生誕百年記念コンファレンスの出席及びワルシアワ大学において数学基礎論の研究
 期間 56. 6. 5～56. 7. 3
 大石 俊一(英米研究 教授)
 渡航先 連合王国、アイルランド、ドイツ連邦共和国、フランス、スイス、イタリア、ギリシャ
 目的 イギリス学界におけるジョイス文学及び

「モダニズム」文学についての最近の研究動向の調査
 期間 56. 9. 20～57. 9. 18
 樹下 行三(情報行動基礎研究 教授)
 渡航先 アメリカ合衆国、カナダ
 目的 耐故障計算及び設計自動化に関する学会出席並びに故障診断論に関する研究のため
 期間 56. 6. 21～56. 7. 20
 安田 喜憲(自然環境研究 助手)
 渡航先 大韓民国
 目的 アカマツ林とハゲ山の成立過程に関する比較生態史的研究調査
 期間 56. 6. 20～56. 7. 4
 栗野 鳳(平和科学研究センター 教授)
 渡航先 カナダ、アメリカ合衆国
 目的 国際平和研究学会議出席並びに国連軍縮センター及びハワイ大学にて研究情報交流
 期間 56. 6. 20～56. 7. 4
 兼田 正男(情報行動基礎研究 教授)
 渡航先 ポーランド、イタリア、オーストリア、フランス、スイス、ドイツ連邦共和国
 目的 第16回国際原生動物学会に出席のため
 期間 56. 7. 3～56. 7. 19
 成定 薫(基礎科学研究 講師)
 渡航先 フランス、イタリア、ルーマニア
 目的 第16回国際科学史学会参加及び科学史関係資料収集
 期間 56. 6. 26～56. 9. 6

編 集 後 記

お待たせいたしました。当初の予定より遅れること2ヶ月、やっと皆様の手には『飛翔』19号をおとどけすることができました。

さて、新しい学生編集委員の顔ぶれをごらん下さい。今年も生きのいい1年生が入ってきました。この19号は彼らの初仕事でもあるのです。どーぞじっくり読んでやって下さい。

『飛翔』では投稿を期待しています。内容の種類は問いません。意見・研究発表の場として大いに活用して下さい。自由投稿、『飛翔』に対する御意見御希望とも学生編集委員へ。おねがいします。

最後になりましたが、19号へ原稿をお寄せいただいた方々、発行がおくれ申し訳ございません。

広報委員の先生方、事務の方、どうもありがとうございました。

さあ、次は20号だ!!

55生 松浦 豊

昭和56年度「飛翔」編集委員

教官	木本忠昭 (社会)	清水廣一郎 (地域)	松浦 豊 (社会)	安永省二郎 (地域)
	伊東 保 (外国語)	樫田倍之 (情報)	山上弘二 (社会)	
学生	53生 足立哲男 (社会)	中上京治 (環境)	56生 井上亮一	隠岐幸代
	54生 藤本桂子 (地域)		桐木淳二	高上佳子
	55生 大原高志 (環境)	岡田敏子 (社会)	竹下 斉	戸田友子
	乙武隆司 (環境)	雲井 司 (情報)	橋本記一	山田順二
	成田実香 (情報)	廣谷義明 (社会)	事務 村中 博	内田精二

